



山桜

高階西中だより第12号

平成29年11月 1日

川越市立高階西中学校

「西中で希望の花を咲かせよう」

～学校の良さをより良い学校にするために、できることを考えよう～

校長 長井正邦

高階西中学校は、昭和60年(1985年)4月1日に川越市内21番目(市内中学校数22校)の中学校として創立しました。当時は、市内生徒数の急増により高階中学校から寺尾中学校・砂中学校が分離新設されました。その後も高階中学校・寺尾中学校のマンモス化が進み、それを解消するために本校を新設・開校したわけです。生徒数は1年生221名、2年生230名(3年生はいません)の全校生徒451名で、11月13日に「開校記念式典」が挙行政され、校歌・校章・校旗が制定されました。

平成29年(2017年)11月13日、開校から33回目の開校記念日を迎えます。全国には、約一万の中学校がありますが、「川越市立高階西中学校」は唯一無二の存在です。私たちは、ここで出会い一日の大半をここで過ごしています。この機会に、高階西中学校の良さを先輩から脈々と受け継がれている校風について考えてみてください。そして、私たちの高階西中学校をより良い学校にするため、自分は仲間と力を合わせて何ができるかを考えてください。

また、学校は私たち中学生の力だけで成り立っているわけではありません。開校当時のもとより、現在も支えてくださる地域の皆さんをはじめとするたくさんの人の力で成り立っています。

「私たちのふるさと」＝「高階地区(ホームエリア)」「川越市(ホームタウン)」の為にできること

についても考える機会にしてほしいと思います。生徒の皆さん一人一人の力に期待しています。



写真上：武蔵野の雑木林を切り拓き、校地が造成されました。
写真下：校舎建設の大がかりな工事は、急ピッチで進められました。

3月の準備説明会は、校舎や校庭が未完成・未整備だったため、高階西小学校の体育館を借りて実施したそうです。(開校記念誌から)

11月の主な予定

- 1日(水) 彩の国教育の日
- 2日(木) 川越市中学生学力調査(3年)
- 3日(金) 文化の日
- 6日(月) 安全点検週間
西部地区授業研究会(2-1・3-1)
- 7日(火) 全校三者面談①
- 8日(水) 川越市中学校音楽祭(3-1)
- 9日(木) 全校三者面談②
- 10日(金) 川越市教育研究会一斉研修会
- 11日(土) 山桜祭
県新人体育大会(女子バスケットボール部)
- 13日(月) 開校記念日
全校三者面談③
- 14日(火) 県民の日
県アンサンブルコンテスト西部地区大会(吹奏楽部)
部活動停止期間(~22日)
- 15日(水) 全校三者面談④
- 16日(木) 全校三者面談⑤
学習サポート①
PTAあいさつ運動(~20日)
*アルミ缶回収
- 17日(金) PTA家庭教育学級(第4回講座)及び閉講式
学習サポート②
ネットワーク会議
- 20日(月) 学習サポート③
- 21日(火) 期末テスト①
- 22日(水) 期末テスト②
- 23日(木) 勤労感謝の日
- 24日(金) 生徒会専門委員会
- 25日(土) PTA親子ふれあいバザー
- 27日(月) 卒業アルバム撮影(3年)
- 28日(火) 社会体験活動(~30日:1年)
性に関する出前講座・講演会(3年)
- 30日(木) 校外学習(上野・浅草方面:2年)



3年生は高階中と寺尾中の標準服が混在 (写真:昭和61年)
開校当時、高階中から来た生徒と寺尾中から来た生徒と一緒に学ぶことになりました。当時のある先生はこう振り返っています。

生徒たちは「高階中のほうがいい」「寺尾中の方がいい」と、それぞれの元の学校を支持して言い合っていました。ある時、一人の生徒が「高階西中の方がいい!」と大きな声で言いました。生徒たちは顔を見合わせて、「うん、そうだね」「高階西中が一番いい」と言い笑顔になりました。心が通い合ったとても嬉しい瞬間でした。
その後、制服は別々の中学校のままでの卒業式になりましたが、心の絆は、すっかり「高階西中生」でした。

(開校記念誌から)

生徒会活動もゼロからのスタート!!

(写真:昭和61年)

別々の中学校から集まった生徒による生徒会活動。見本にする先輩たちがいない中でゼロからのスタート。先輩方は、学校生活をこう振り返ります。

- 真白い校舎で気持ちよく生活できました。当時、私たちは清掃だけががんばりました。後輩たちには、いつまでもきれいな校舎を保ってほしいと思います。高階西中は、いつまでもきれいな学校であってほしいです。(S60)
- 様々な行事の準備では、裏方の大変さを学びました。でも、大変さを経験したからこそ、当日は人一倍楽しめたと思います。(H5)
- 多くの思い出と共にかけがえのない仲間ができました。高階西中学校は、私にとって、大切な宝物であり、故郷です。(H24)

(開校記念誌から)



学級、学年、学校が一つになる行事 (写真:平成17年 体育館での合唱コンクール)
生徒全員で力を合わせ本気で取り組む学校行事は、いつまでも忘れられない宝物となります。先輩方は、学校行事をこう振り返っています。

- 私の代は、生徒数が減って学年2クラスしかありませんでした。しかし、少数だからこそその団結力で行事に取り組みました。かけがえのない時間でした。(H18)
- 様々な行事を通して、自分の将来像を見出し、未来の自分を形づくるものとなりました。誇り高さ3年間でした。(H22)

(開校記念誌から)

「エイサーの高階西中学校」(写真:平成22年 体育祭)

「生徒全員で一つのことに取り組もう!」そんな思いから平成22年度の体育祭でエイサーがスタートしました。

- 山桜祭の講座で目にしたエイサー。小さな太鼓なのに、心を一つに打ち鳴らせば大きな音になる。子供たちの心が一つになり、伝え続けられるエイサーであってほしい。(H22 校長)
- H22年度体育祭で初披露されたエイサー。地域の方々前で披露する機会をいただくようになりました。エイサーは、生徒たちに、伝統芸能の素晴らしさと同時に高階西中という母校に対する思いも育ててくれると思います。(H22PTA 会長)

(開校記念誌から)



川越市立高階西中学校 校歌

作詞 こわせ たまみ
作曲 岩河 二郎

みどりかがやく 高階の
薫る大地よ 朝の陽よ
光の中に 新しく
自由の息吹き ふきあげて
いのち明るく もえる時
青春かぐわし われら 今
はばたけ 高く さわやかに

空の青さが 飛ぶ雲が
心ひろくと 呼びかける
この学びやに 友と立ち
理想の未来 もとめあい
今日をはげしく もえる時
青春たくまし われら 今
はばたけ 強く たゆみなく
ああ 友情の歌 ひびきあう日よ
かがやけ かがやけ
高階西中学校

「輝いて生きる日の歌を」と

校歌を作詞したのを、昨日のこのように思い出します。

中学生という最も多感な青少年女期にこの学校で過ごしている日々は、決して再び戻りません。強く輝き未来を求めて生きていってほしい!大切な毎日を、分け合っ
て共に生きている友達のいる喜び。そして、この高階の地を故郷として育つ幸せ。そんな想いを表現できたら、と作詞しました。

校歌は、その学校の皆さんに歌っていた
だく日々の中で完成し、より血の通った確
かなものになっていくと思います。これか
ら未長く歌い継いでいただけたら幸い
です。

(詩人 こわせ たまみ)
(開校記念誌から)